

通知表の所見

保護者にとって通知表を受け取る時は、我が子が学校でどのような取り組みをしているのだろうか、友達とはうまくいっているのだろうか、担任にどう見られているのだろうか、何が書かれているのか不安でもあり、関心事でもあります。とりわけ総合所見欄は、短い文章の中から、担任の想いを汲み取ろうとして、何度も何度も読み返される欄です。

したがって所見には、子どもや保護者が、もらってうれしい、もらって元気の出る、担任の温かい思いが込められているものが望ましい。いわば所見は、担任からの心のこもった手紙だとも言えるのです。

1 所見作成の手順

6月の後半は、所見作成の準備に取りかかる時期です。特に総合所見は、全員分を一気に書けるものではなく、教科の評定とも関連付けながら、日数をかけて相当の準備をしなければなりません。完成までには、次のような手順が必要です。

- (1) 校内の締め切り日から逆算して、作成のスケジュールを組む
- (2) 一人ひとりの所見の草案を書き始める。(放課後等に数人ずつ)
- (3) 全員分できあがったら上司に見てもらおう。(学年主任 → 教務主任 → 教頭)
同時に初任者指導の先生にも見てもらおう。
- (4) 修正し、通知表に清書したものを教頭に提出。
- (5) 校長の最終点検後、印を押して完成。
- (6) 終業式の日、子ども達一人ひとりに手渡し。

👤 今日はこの5人の子たちの所見を書くぞと決めたら、朝からその子達をよく観察し、何を書こうか考え続けながら一日を送るとよい。ひらめいたときにどどんメモを残しておく。そうすれば放課後には比較的すんなりと文章が出てくると思います。

2 所見の内容の留意点

(1) 文字数の目安を確認する

学校によって通知表のスタイルが異なるため、所見欄に使う文字の大きさや文字数の上限が決まっています。64文字の学校もあれば、150文字の学校もあります。書きたいことがいっぱいあっても、文章を簡略にして、制限の文字数におさめなければなりません。

(2) どんな内容を書くか

通知表は、「各教科の学習の評定(5段階等)」「生活の様子(○、△等)」「総合所見」「出欠の記録」等で構成されています。総合所見には、これら学習面や生活面の記録に書かれている内容と重複することなく、それ以外の、保護者が知りたがっていることを書いていくのが良い。具体的には、

- ① 学習面では
学習への取り組み、根気強さ、積極性、優れた能力や、表現力等。
- ② 生活面では
心の成長、友達との関わり、行事への取り組み、強い意志、責任感や根気強さ …等々。

(3) 良い部分や、成長したところを書く

記録として手元に一生残るものでもあるし、祖父母や親戚が見る場合もある。気持ちよく学期末を終えて次への励みにしてほしいので、「良いところ」や「成長したところ」を中心に書くのが良い。「～が出来ませんでした」や「残念です」等は、保護者はわかっていることなので、あえて記録として残す必要はないと思います。

(4) 行事への取り組みは、経過を具体的に書く

運動会や授業参観での様子は、保護者も見てわかっていると思うので、準備段階での練習の様子とか、友達への励ましとか、途中の経過の取り組みや成長について書くと、良さが伝わると思います。

(5) 一人ひとりにしか当てはまらない内容を盛り込む

学校は集団行動なので、同じ取り組みをしている場合、誰にでも当てはまる内容の所見になりがちである。小学校では、男の子同士が通知表を見せ合うことがあり、そのとき自分と同じ所見が書かれていたり、パターンが似ていたりすると、子ども達のがっかりする表情を見せることがある。一人ひとり違った所見が書かれていることで、子どもも保護者も「この先生はよく見ていてくれる」と感じ、信頼が得られるのではないのでしょうか。

(6) 課題ではなく、期待を書く

いろいろな課題を抱えた子どもに対しては、「～を期待しています。」や「～を願っています。」「～をしてほしいと思います。」などと表現した方が、抵抗なく受け入れられると思います。

(7) 同僚教師に情報をもらう

掃除への取り組みや、部活動への取り組み等は、担任には見えていない部分ですので、これらは、掃除分担の担当の先生や、部活動の顧問の先生から情報をもらうと良いでしょう。名簿を渡し、簡単に書いてもらえるよう依頼すれば、書いてくれます。担任には見えなかった姿が見えてきます。

(8) 子ども達に自己評価をしてもらう

子ども達にプリントを配り、今学期を振り返って、「自分の取り組みはどうだったのか、得意な教科や苦手な教科、掃除への取り組みは、友達との関係は、表彰されたことは、持っている検定の資格は、等を記入してもらうと、担任が知らなかった事や、思い違いをしていたことがわかり、より充実した通知表になると思います。

(9) 学年に応じて表現を使い分ける

子どもの発達段階を考慮して、小学校低学年では、「～ができました。」「～に取り組みました。」や「立派でした。」のように行動に基づいた表現をするが、高学年では、「～を深めることができました。」や「～を工夫していました。」や「やり抜きました。」などと内面的なものを評価する記述を入れていくと良いでしょう

- 所見は寝かせておけ。所見は、前日書いたものを翌日読み返してみると、変な表現に気づくことがある。適切な表現にするには、しばらく寝かせておくのが良い。折にふれ何度も見ているうちに、いい文章が浮かんでくるものです。

3 もらってうれしい所見・キーワード

(1) 学習面

① 根気強さ

根気強く ていねいにねばり強く 話をしっかり聞いている
きめ細かく確実に 漢字や計算をていねいに 地道にこつこつと
ひたむきに努力する姿は立派です
リコーダーを、休み時間に何度も練習する姿は大変立派です

② 意欲、積極性

やる気いっぱい 目を輝かせながら 自主的に 好奇心旺盛
向上心をもっています 進んで発言できました がんばり屋さん
積極的に発表することができました 学習を活気づけてくれました
納得いくまで取り組む姿勢は素晴らしい 積極的な姿が見られました
生き生きとした表情で活躍する姿が印象的でした
調理実習では、最後まで残って洗い場をきれいにしていました

③ 優れた能力

学習への集中力 見通しを持って 計画的に 理解力と吸収力
創造性豊か 発想が柔軟 発展的な発言 読み取る力が豊か
ポイントをつかみ取る力 速く正確に計算できるようになりました
科学的に考える力が伸びました 切り替えが素早くできる
主人公の心情の変化を読み取ることができました
トマトの絵をととても丁寧に描くことができました
優れた作品を作り上げることができました

④ 表現力、他との関わり

討論を深めていくことができました 自分の考えをしっかりとと言える
きれいに仕上げ、素敵な作品を作り上げていました
工夫して朗読することができました 表情豊かに発表しました
具体的な事例を挙げて説明することができました
自信を持って言い切ることができました
根拠を明らかにした読み取りは見事でした
わかりやすく、説得力のある発表をすることができました

(2) 生活面

① 心の成長

真面目 ひたむき 根気強い 几帳面 気力の充実
温和で優しく 正直で 精神的なたくましさ やわらかな心
心を込めて 誠実に しなやかな感受性 落ち着きと安定感
頼もしさを感じます 礼儀正しい 整理上手 物を大切にする
明るい 元気 快活 ほがらかで 気持ちの良いあいさつ
さっぱりして さわやかな 協調性がある にこやかな笑顔
表情が豊か おおらかな気持ちで 素直な ぬくもりのある
自分を高めようとする意欲は～さんをどんどん成長させています。
給食は、苦手なものを残さずもりもり食べ、見ていて気持ちが良い
給食では、苦手な食べ物も、自分で量を調整して食べる努力をしていました
ウサギに愛情を持って世話をすることができました

② 友達との関わり

思いやりのある、やさしい心づかいが伝わってきました
人のために力を尽くす 相手を大切にする ゆずり合いながら
分けへだてなく、誰にでも親切に やさしい心配り
学級のみんなから慕われています 友達からも信頼されています
信頼も厚いです 人との関わり方に温かさを感じました 社会的
おおらか サービス精神旺盛 クラスに良い影響を与えています
下級生の面倒見も良く 下級生の良い手本になりました

③ 行事への取り組み

チームワークを大事にし 行動力を発揮して 先頭に立って活動
前向き 意欲的 積極的 行事の中心となって活躍しています
リーダーの仕事をみごとにやり抜きました
行動力があり、呼びかけによってクラス全体が動くことが多くありました

④ 強い意志

自分の考えをはっきりと主張しました 物おじしない
まっすぐな心 核心をついた意見 努力を惜しみませんでした
最後までやり抜く意志の強さがあります
勇気を出して挑戦していました 正義感が強く負けず嫌い
学校の決まりをしっかりと守り、落ち着いて行動することができます

⑤ 責任感、根気強さ

労をいとわず 汗びっしょりになるまで 安心して任せられる
自分の仕事に責任を持って取り組んでいます
聞き手を意識して放送することができました
伸びやかな歌声で朝の会を盛り上げました
掃除は、ぞうきんが真っ黒になるまで頑張りました
当番に責任を持って取り組む姿が印象的でした

(3) 語尾の言いまわし

- ・～が印象的でした。
- ・～という態度はとても立派でした。
- ・～の努力を続けています。
- ・～ができ、みんなから大きな拍手をもらいました。
- ・～しようとする意欲がすばらしいです。
- ・～には目を見張るものがあります。
- ・～さんの普段の努力の積み重ねの結果です。
- ・～さんはとても生き生きとして自信にあふれています。
- ・～では優秀なできばえで、感心するばかりでした。
- ・～の力の伸びが顕著でした。
- ・～する学習ぶりが光っていました。
- ・～さんのつぶやきで授業が何度も深まったことがありました。
- ・～では、大活躍しました
- ・～のセンスがあります。
- ・～する力は抜群です。
- ・～が出来た時の～さんの笑顔はとても爽やかでした。
- ・～は～さんの一番の持ち味です。
- ・～する時の生き生きとした姿がとてもすてきでした。

- ・～の楽しさを～さんがクラス中に広めてくれました。
- ・～の努力に大きな拍手を送ります。
- ・～では最後までやり遂げるがんだりやです。
- ・～の姿に大きな成長を感じました。
- ・友達に優しく関わる姿に好感が持てました
- ・～をする姿はクラスのお手本でした。

👤 もし、のび太のような子どもが学級にいたら、どのような所見になるのか、考えてみました。

人の役に立とうとする優しい気持ちや、強い正義感を持っています。自分の思い通りにいかない時に、道具を利用して解決していく発想力には目を見張るものがあります。時として、面倒なことから避けようとする弱さがありますが、人に頼らずに、自分の力で解決をしたときの喜びや達成感を積み重ねていきながら、弱さを克服し、より成長していくことを期待しています。 (170字)

4 間違いやすい表記

×		○	
暖かい心で接して	→	温かい心	
きちんと後仕末を	→	後始末	
意志表示	→	意思表示	
多勢	→	大勢	
音楽観賞	→	音楽鑑賞	
温好な性格	→	温厚	
期待に沿う	→	期待に添う	
グループを変えて	→	グループを替えて	
言葉使いがていねい	→	言葉遣いが	
小人数	→	少人数	
心気一転	→	心機一転	
出合いを大切に	→	出会い	
いつも適格に対処し	→	的確	
手を上げて	→	手を挙げて	
仲間同志	→	仲間同士	
幅飛び、高飛び	→	幅跳び、高跳び	
普段の努力	→	不断の努力	
無我無中	→	無我夢中	

👤 親も子も、学級担任の所見の「その一言」で救われたり、「その一言」で励まされる、そんな「一言」を届けたいなあと思っているのです。